インターネット市政モニター制度

市民サービス向上のために意見を募集

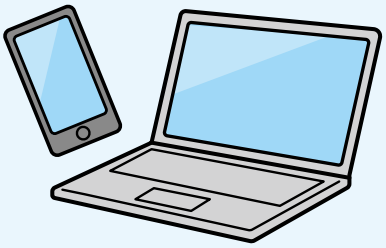
市では、インターネットを利用してアンケート調査に回答してもらう「インターネット市政モニター制度」を実施しています。アンケートに回答すると獲得できるポイントを一定以上ためると、記念品と交換できる特典があります。

インターネット市政モニター制度とは

市が抱える課題などについて、インターネット(パソコン・スマートフォンなど)を利用して市民の皆さんの考えや意見を聴く事前登録制のアンケートシステムです。

市では、このアンケートによって得られた貴重な意見を活用し、市民サービスの向上に取り組んでいます。

10月末時点の登録者数は1、572人。多くの意見を市政に反映させるため、幅広い世代の皆さんの登録をお願いします。



Eメールでアンケートを配信

市政モニターに登録した人へ、Eメールでアンケートを年8回程度配信します。

結果は集計後、市ホームページに掲載します。

これまでに実施した主なアンケート調査と回答率、活用状況は3ページの通りです。

市ホームページ

モニター登録はホームページから

市政モニターのホームページにある「新規モニター登録」から、下図の手順で登録してください。

モニター登録は、市内在住・在勤・在学の16歳以上の人であれば、どなたでもできます。ただし、1人1回の登録に限ります。

同一のEメールアドレスで複数人の登録はできません。登録は無料ですが、通信料はかかります。

また、スマートフォン以外の携帯電話からの利用はできません。

スマートフォンでも機種によっては利用できない場合があります。

※くわしくは市民協働課(☎20-1507)へ。

市政モニターホームページ

モニター登録の流れ

1 ホームページにアクセス
インターネット市政モニターホームページを開いてください。

2 モニター規約確認
必ず規約を読み、同意する場合のみ仮登録手続きに進んでください。

3 仮登録手続き
仮登録に必要な情報を入力してください。入力された住所は記念品の送付に使用します。設定したパスワードは忘れないように控えてください。

4 仮登録完了・Eメール確認
登録したEメールアドレス宛てに仮登録完了メールが届きますので、メールに記載されているURLから本登録に進んでください。

5 本登録手続き
本登録に必要な情報を入力してください。

6 本登録完了・Eメール確認
登録したEメールアドレス宛てに本登録完了メールが届きますので、内容を確認してください。

インターネット市政モニター

アンケート結果の活用状況

調査名(担当課・回答率)	目的	活用状況
総合窓口等の利用に関するアンケート (行政管理課・68.1%)	窓口を利用する人の利便性の向上や窓口サービスの簡素化に向けて取り組むとともに、窓口に来なくても各種手続きが完了できる取り組みを進め、今後の窓口サービスのさらなる向上に役立てる。	より便利で安心できる窓口サービスの実現に向けて取り組みます。
成田市制施行70周年記念事業に関するアンケート (企画政策課・68.8%)	本市は令和6年に市制施行70周年を迎えたことから、さまざまな記念事業を開催しており、その効果や課題を検証する。	市民の皆さんの声を反映した事業の検討に取り組みます。
公民館の在り方に関するアンケート (公民館・66.6%)	今後の公民館利用における利便性の向上や地域住民にとってより魅力ある公民館づくりに役立てる。	公民館が地域住民の皆さんにとって、より身近に必要とされる施設としての役割を果たすとともに、より魅力的で利用しやすい公民館づくりに努めます。
自治会活動に関するアンケート (市民協働課・68.7%)	自治会活動と市民活動に関する現状を把握する。	持続可能な地域活動を形成するため、市民の皆さんと協働して取り組みます。
30(さんまる)・10(いちまる)運動に関するアンケート (クリーン推進課・66.9%)	日常生活で生じる食品ロスの発生状況や30・10運動(宴会時、乾杯後30分と終了前10分は自分の席で料理を楽しむことを呼び掛ける運動)の認知について現状を把握する。	意見の中で複数挙げられていた「一人暮らしであるが、お惣菜の量が多い」「賞味期限・消費期限の違いをもっと周知すれば、食品ロス削減につながる」といった情報は、飲食店やスーパーなどに共有することで食品ロス発生防止につながるものと考えられます。アンケートで得られたデータを有効に活用します。
広報なりた・市ホームページに関するアンケート (広報メディア推進課・67.0%)	広報なりた、市ホームページについて現状を把握する。	広報なりたや市ホームページ、市公式SNSなどを活用した情報発信の推進に努めます。
文化芸術に関するアンケート (文化国際課・65.1%)	文化芸術に対する市民の皆さんの意識や活動状況を把握することにより、現状の課題を整理し、今後の文化芸術振興の参考とする。	市の文化芸術事業へ活用します。